

### 第3回（2019）新・里山講座アルバムと受講生の感想集

第3回新・里山講座は受講生15名の皆様と2019年1月6日から5月19日まで全12回連続で実施しました。講座アルバムと受講生の感想を取りまとめました。

第1回1月6日（日）13時より福島区民センターにて「開講式、写真下左」、「受講生・スタッフ自己紹介、写真下右」、「保全協会が目指す里山とは」を常俊容子氏（ナチュラリスト講座企画運営、写真下中）の講義



第2回1月15日（火）19時より福島区民センターにて「森林のしくみ」藤原宣夫教授（大阪府大教授、写真下左）と、集合写真（写真下右）。



第3回1月20日（日）11時より福島区民センターにて「里山保全事故事例」「KYK」は大塚陽一（新・里山講座スタッフ、写真下左）、13時より「応急手当短期講習」日本赤十字社泉澤治指導員と講習風景（写真下右と写真下2段目）。



第4回2月3日（日）10時より吹田市紫金山公園内の吉志部神社社務所にて「紫金山フィールド見学・下草刈り」を武田義明氏（紫金山みどりの会会長、写真下左）より「紫金山公園の植生」、金谷薫氏（紫金山みどりの会事務局長、写真下中）より「市民が公園計画を作った」の講義を受けたのち、13時よりKYKを行い（写真下右）、紫金山みどりの会のスタッフより下草刈りの実習を受けました（写真下2段目）、その後フィールド見学（写真下3段目左・中）、最後に実習に使用した鎌の手入れを行いました。



第5回2月5日（火）19時より福島区民センターにて「人の暮らしと里山」講師の佐久間大輔氏（大阪市立自然史博物館課長代理、写真下左）と受講風景（写真下中）、集合写真（写真下2段目）



第6回2月24日（日）10時より富田林市彼方の「奥の谷フィールド見学・間伐」を田淵武夫氏（富田林の自然を守る会代表、写真下左）よりフィールド見学（写真下中）。実習の前にKYKを行い（写真下右）、間伐実習を行いました（写真下2、3段目）。



オプションとしての植樹は3月9日（土）9時30分より堺市第7-3区共生の森での植樹祭（写真下1段目）に講座よ4名が参加、3月10日（日）9時30分より能勢町歌垣銀寄栗の森づくりイベント（写真下2段目）には講座より7名が参加しました。





第7回は3月16日（土）9時30分より池田市五月山児童文化センターにおいて「植生・毎木調査の必要性と方法」を土生陽子氏（木象嶽こばみつ亭代表、写真下左）、その後、中川勝弘氏（五月山グリーンエコー代表、写真下中）に五月山緑地フィールド見学として炭焼小屋コースを大文字焼き火床までご案内頂きました。昼食後は、火床下に設けた実習地で2班に分かれて「毎木調査実習、写真下2段目」を行い、実習後に緑のセンターに戻りふりかえりをする中で1日目を終えました。



2日目の17日（日）9時30分より五月山児童文化センターにて昨日調査したデータを図面（写真下左）に落とし込みを行いました。その後、中川勝弘氏より「いのち輝き響きあう暮らしのそばの森づくり町づくりを目指して」についてお話頂き、炭焼き小屋にて雨宿りをしながら昼食を摂りました（写真下中）。昼食後は昨日の2班に分かれて「森づくり企画」を話し合い取りまとめました（写真下右）。その後、実習地で安全を確認後どのようなコンセプトで森づくりをするのかを反対班の方に説明して、間伐作業を中心にした実習により「森づくり」（写真下2～3段目）を完成させました。実習終了後は緑のセンターに戻り道具の手入れ、返却、ふりかえりをして盛りだくさんな2日間の講座を終えました。





第8回3月30日(土) 9時30分より大東市野崎においての「竹炭焼き体験」を山崎充宣氏(野崎・飯盛の山と緑を保全する会代表、写真下左)に指導頂き、孟宗竹を約10cmに切断、せんべい状に割り窯(全景写真下2段目中)に詰め込みました(写真下2、3段目)。その後、窯に火入れ、順調に推移し時間とともに煙も立ち上がってきました。



第10回は予定していた4月14日（日）が荒天のため延期し、21日（日）10時より、高代寺山において、受け入れご挨拶に長岡一夫氏（妙見里山倶楽部前会長、写真下左）、「講義：竹について」「実習：竹切」を妙見里山倶楽部の高田直俊氏（写真下中）、井上登喜夫氏（写真下右）、実習については、班リーダーとしてスタッフの皆さんのご指導により行いました。（写真下2～4段目）また、昼食休憩を利用しフィールド見学、高代寺に保護されているツキノワグマ（写真下4段目右）の見学を済ませました。新会長の伊藤温夫氏（写真下4段目右）が最後にご挨拶されました。



10回目5月3日（祝金）10時より「お茶摘み・お茶づくり体験」を、「太子町葉室里山クラブ」の行事に参加しました。代表の小路公之氏（写真下左の左）、事務局の中條月代氏（写真下左の右）、お茶摘み要領（写真下中）、お茶摘み風景（写真下右）、お茶づくり（写真下2、3段目）、草もちづくり（写真下3段目右）



第12回5月19日（日）講義「里山保全と生物多様性」を田淵武夫氏（富田林の自然を守る会代表、写真下前列右より3番目）、座修了後の活動について」講座スタッフより説明し、その後の修了式では金谷副会長（写真下前列左より3番目）より受講生の皆様に修了証または受講証を授与しました。



<受講生の皆様の感想>

○内容にはほぼ満足でしたが、後半の講座に参加出来なかったので少し残念でした。

○個人では参加しづらい府内の実習地を研修出来良かった。

○府内の多様なフィールドが体験でき、また実際にその現場で活動されている方のお話や指導を受けられたことが何よりでした、個人ではなかなかそういうことは難しいと思います。また、現状の問題点、スタッフの高齢化の進展、周辺との軋轢など、いろんな課題などをお聞かせ頂き、いろいろ勉強になりました。

○様々な個性ある活動地を拝見できたことが、とても参考になりました。

それぞれの場所の環境（立地条件、課題、歴史など）を知ることで、視野が広がり自分の現在の活動を再確認することが出来ました。

○里山について、歴史から始まり基礎から教えて頂き有難うございました。

狭義の里山というより広義の里山を知りたかったので大変勉強になりました。  
文化、システムとしての里山をもっと知りたいです。

○自分の個人的な事情によりフィールド活動が殆ど参加出来なかったが、座学ではいろいろな活動や幅広い知識を得ることが出来たので非常に良かった。

もっと活動の幅を広げて自分のスキルをアップするため、色々な活動に参加していきたい。

○期待以上の面白さでした。

○全体的に楽しく受講させてもらいました。

○楽しく参加出来たと思います。

○実習は今まで経験したことがないことが出来たので期待通りであった。

○講座のカリキュラムに実習がたくさんあり、とても楽しみにして申し込みました。

炭焼やお茶摘みは初めての体験でとても面白かったです。竹林・人工林の間伐、里山の整備や観察なども含め里山講座の名前にふさわしい期待通りの有意義な講座でした。

○毎回の講座ニュースは学んだことの記録としてとても役に立つし、他の人が考えていることと自分との違いも分かりますので良かったです。

○非常にスタッフとの関係が近く話しやすい環境だったので参加しやすかった。昨年里山講座に参加されていたスタッフの方々も非常に親切だった。まだまだ知識が浅いスタッフの方々もいたが、逆にそれが親しみやすく近い存在だったので気楽に参加出来た。

○これからどうするか今は何も考えていませんが、今まで何も考えてこなかったのに公園に散歩するだけでもこの木はどうとか、光があってないから間伐した方がいいとか、竹を切りたいとか思うようになった。それは確実に自分の生活（人生）に影響を与えていくことだと思います。有難うございました。

○今の活動地にも放置され荒れまくった茶の木がありました。これを整備して茶づくりプログラムとして、市民に体験してもらおうと考えています。

以上